

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

脱プラ、排出CO2を指針に自然素材の良さ、価値、大切さを理解し、不変的で有限な自然素材と環境配慮から生まれる新素材でものづくりし、環境負荷をかけない、共存・共生・循環型の社会の実現に向けた取り組み。

- ・自然素材の良さ、価値、大切さが理解される
- ・不変的で有限な自然素材と環境配慮から生まれる新素材でものづくりし、環境負荷をかけない業界
- ・未来に技術を伝え、時代に合わせ変化し受け継がれる
- ・地のものを大切に、地域に良さを伝え、活性につながる関係
- ・流行ではなく、ものの良さに愛着と歴史を感じることもできる、感性ある社会

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	合板やプラスチック素材から無垢素材を重視した製品づくり	合板使用量割合(入荷数量ベース) 2023年100%→2026年70%
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	廃棄物を新素材に再生加工し再利用 おがくずを酪農のたい肥として再利用	廃棄処分費の削減 2023年16万円→2026年15万円
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	性別、国籍、年齢を問わない従業員の雇用	従業員数 2023年11名→2026年12名(1名増)

<パートナーシップ>

家族にクライアントに、地域に、社員にそして自分に「誇れる」会社を目指し、人(生活)の役に立つモノをつくることを企業理念に、雇用につなげ働きやすい職場環境を更に充実させる。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	合板やプラスチック素材から無垢素材を重視した製品づくり ・資材高騰により会計データでの比較が難しい。棚卸データを見るとはるかに無垢材を多用しているのが確認できる。今後棚卸データを基に数量をチェックするように切り替える。	合板使用量(入荷ベース) 2020年70%→ 2023年30%	2023年度は20%減にとどまり未達成
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	廃棄物を新素材に再生加工し再利用するとともに、おがくずは酪農のたい肥として再利用する。 ・処分する木材を利用し、小物を商品化したり木工教室の材料、個人の薪として提供したことで目標に達したと言える。	廃棄処分費の削減 2020年50万円→ 2023年20万円	2023年度は16万円と目標に達成した
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	性別、国籍、年齢を問わない従業員の雇用 有給休暇を取りやすいよう、あらかじめ休日カレンダーで予定する等、働き方改革の効果だと考える。	2020年1名増員→ 2024年3名増員	2020年6名から 2023年度は11名にと目標に達成した

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。